

献血ができる基準

献血基準 1 採血基準の主なもの

採血基準を満たした方は献血をすることができます。これは、献血者の健康を保護するために設定されています。

		若年層の献血入門	特に必要とされている献血	
項目	献血の種類	200mL献血 (全血献血)	400mL献血 (全血献血)	成分献血 (血しょう・血小板)
男性	年齢	16歳～69歳	17歳～69歳	18歳～69歳
	体重	45kg以上	50kg以上	45kg以上
女性	年齢	16歳～69歳	18歳～69歳	18歳～69歳
	体重	40kg以上	50kg以上	40kg以上

※65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
※女性の血小板献血については、54歳までとなります。

※65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60～64歳の間に献血の経験がある方に限ります。



当日、血圧・コレステロール・痛風のお薬を服薬されていても献血可能です。

服薬されている方は、お薬手帳をご持参ください。

献血基準 2 献血をご遠慮いただく場合

採血基準のほかに、献血者と輸血を受ける患者さんの安全を考慮し、献血をご遠慮いただく条件があります。

薬を飲んでいる

病気や薬の種類によって、献血をご遠慮いただくことがあります。

予防接種を受けた

予防接種の種類によって異なりますが、**一定期間**献血をご遠慮いただいています。

歯科治療を受けた

3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた方は、献血をご遠慮いただいています。

海外に行った

帰国当日から**4週間以内**は、献血をご遠慮いただいています。また、特定の時期に一定期間イギリスなどへの海外渡航歴がある方は、献血をご遠慮いただいています。

※病気や薬の種類、予防接種の種類などについてはセンターにご相談ください。
※このほか、特定の病気にかかったことのある方や一定期間内にピアスの穴をあけた方など、献血いただけない場合もございます。
※ご不明な点は、血液センターまでお問い合わせください。⇒ TEL:086-255-1211
※本社ホームページの「献血をご遠慮いただく場合」には、より詳しい内容が載っていますのでご確認ください。⇒



※ご注意ください※

糖尿の治療で服薬中の場合及び血液をサラサラにするお薬を服薬中の方は献血をご遠慮いただいております。

※※ 当日までのお願い ※※

- ◎前日の睡眠時間は最低 **4時間以上** でお願ひします。(体調を整えて下さい)
 - ◎3日以内に出血を伴う歯科治療(歯石除去等含む)がある方は献血がお願いできません。
また、口内炎のある方についても献血がお願いできない場合があります。
 - ◎4週間以内に海外から帰国(入国)した方は献血のお願いができません。
また、過去の滞在歴により献血のお願いができません。
- ※主な概要のみお知らせしています。(詳細は当日の問診等にてお問い合わせください。)

献血が必要な理由

理由1

血液は
**長期保存が
できない!?**

血液は生きた細胞の集まりなので、長期保存ができません。
そのため血液センターでは毎日必要な血液量の確保に努めています。

理由2

血液はまだ人工的に
造れない!?

血液は科学が発達した現代でも、まだ人工的に造ることはできません。ですから、皆様からの献血は人から人へ**“命をつなぐリレー”**なのです。

理由3

1日に必要とされる
献血者数!?

日本国内では、1日あたり**約3,000人**の患者さんが輸血を受けていると言われています。しかし、患者さんによっては大量の輸血が必要なので、必要量確保のためには、1日あたり**約13,000人**の方に献血にご協力いただく必要があります。